

レポートを進めるための「ここが大事！」

◎学習書もレポート内容の解説が載っています。教科書&学習書を一通り読んでからレポートに取りかかりましょう。

報告課題⑨

●「食事」高階 杞一（たかしな きいち） 【学習書P一九九〜二〇二】

◎ 詩の形式

A 「文語体」 か 「口語体」か。

B 「定型詩」か「自由詩」か「散文詩」か。

※A Bの組み合わせで答えます。

◎ 段落の呼び名

「連（れん）」 第一連、第二連・・・のように表されます。

◎ 学習書にある「主題」をよく読んでください。

二、「晴れた空のどこかで／突然／扉が開く」が象徴するのか。

①第二連は、視点の変化を捉えること。

人間が、「猫の視点」で世界を捉えるということ。

②「突然／扉が開く」の解釈について。

・「突然」≡ 不意に、急に、予測不能

人間の力では及ばない力によって、不意に起こる出来事であること。

三、①動作の主体（≡主語）を考える。

②「箸がゆっくりと下りてくる」とはどういうことか、言い換える。

【解答例】

（ ）がこの世界に入ってきて、ゆっくりと（ ）こと。

四、「箸」の例えているものは何か。

①「突然扉が開く」≡不意に起こる出来事

②「何もない空の」≡日常

③「箸がゆっくりと下りてくる」とは、人間が食べられること

つまり、「人間に起こる、日常が壊されるような突然の出来事」とはどのようなこととがあるだろうか???

● 「こころ」萩原朔太郎（はぎわら さくたろう）【学習書P二〇三〜二〇六】
二、第一連について

○ 「せんなくて」の意味 「せんなし（詮なし）」＝しかたなくて・無益だ

四、「ああ」の語句はどのような効果があるか。

○ 「こころをばなににたとへん」単語に分ける。

「こころ／を／**ば**／なに／に／たとへ／**ん**」

強調

意志（しよ）

訳 「こころをなににたとへよう」

○ 「ああ」以下「こころ」というものを、何に例えることができるのか、それは難しい問題だと強調している。

六、「わがこころはかくさびしきなり」とはどのような「さびしさ」か。

○ 問題文の解釈

「私のこころは このようにさびしいのである。」

○ 「されど道づれのたえて物言ふことなければ」の解釈

「けれど、自分のこころが自分から途絶えて、物を言うことがないので、

つまり、「自分で自分の心が分からなくなることがあるということ」「への「さびしさ」

● 「日本海」草野心平（くさの しんぺい）【学習書P二〇七〜二一一】

◎ 冬の日本海の荒れ模様を様々なものに例えて表現してる。

「とほい海づらに雪が降り屏風になつて進んでくると」

∴ 雪が激しく降り、風に押されのしかかってくる様子。

「鉛の海は吼えまくり」

「たてがみをちぎって波は崩れる」

「悲しいなどのひまはないもうめちやくちやな雪である」

「天もいまは荒々しく逆立ち」

「猛然としたシムフォニーだ」

∴ ライオンのような海の様子。

∴ 日本海にある様々なものが関係しあって激しい雪の風を作り出している様子。

七、萩原朔太郎と草野心平について

◎ 「代表作名」と「作風」を必ず答えてください。